

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

インフルエンザ (新型インフルエンザ) 情報

インフルエンザ患者数は県内の内科と小児科の医療定点 (199 か所設置) からの報告によるものですが、現在はほとんどが新型インフルエンザ患者と考えられています。インフルエンザの定点あたり患者数は **26.75 人** (先週 29.57 人) と減少し、先週に続き警報レベルの開始基準値 (定点あたり 30 人以上) 以下となっています。地域的には、定点あたり 50.31 人の加東保健所管内を最高に、姫路市、加古川、龍野、中播磨、朝来及び洲本の 7 保健所管内が定点あたり 30 人以上、丹波を除く 9 保健所管内が定点あたり 10 人以上となっています。最近 7 週間 (第 43~49 週) の年齢分布の推移をみると、10~14 歳の割合が減少し周辺年齢層の割合が増加しています。

県内の学校でのインフルエンザによる学級閉鎖等の状況は、休校 14 校 (先週 17 校)、学年閉鎖 81 校 (同 113 校) 及び学級閉鎖 282 校 (同 334 校) の合計 377 校 (同 464 校) で、休校、学年閉鎖及び学級閉は共に減少しました。社会福祉施設等でのインフルエンザ集団発生状況も 37 施設 (先週は 41 施設) と減少しました。詳しくは兵庫県のホームページの新型インフルエンザ記者発表資料をご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa18/press.html>

都道府県別では兵庫県を含む全 47 都道府県に警報レベルの保健所があります。

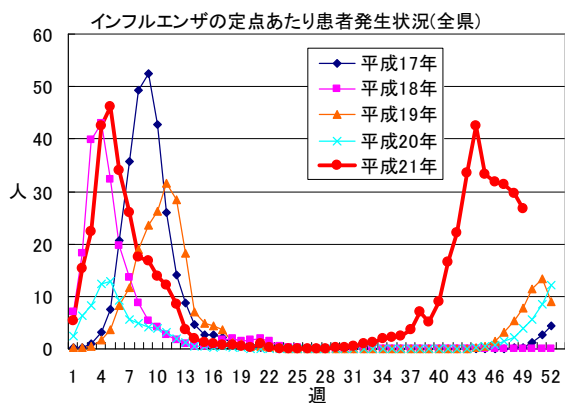
新型インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。受診に際しての注意点等は次のホームページをご覧ください。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa18/press.html>

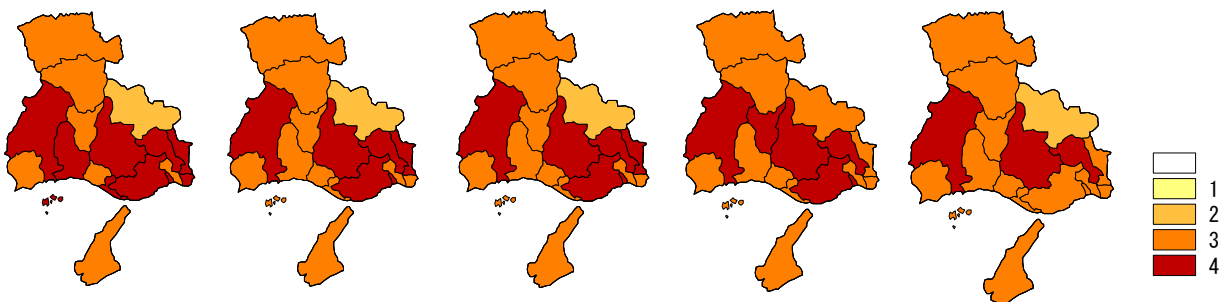
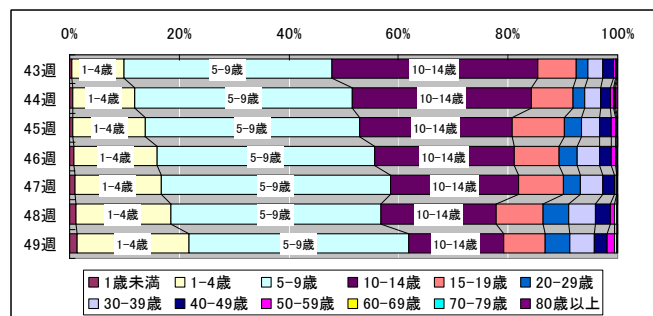
(兵庫県新型インフルエンザ記者発表資料)

<http://web.qg.pref.hyogo.lg.jp/hyogo/ap/qg/men/pwtpmenult01.aspx> (兵庫県医療機関情報システム)

インフルエンザの定点あたり患者発生状況 (全県)



患者の年齢分布 (43~49 週)



4 5 週

4 6 週

4 7 週

4 8 週

4 9 週

(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています)

新型インフルエンザに関する情報は次のホームページ（HP）でもご覧ください。

- ・厚生労働省のHP (<http://www.mhlw.go.jp/>)
- ・厚生労働省：新型インフルエンザ最新情報
(<http://www.mhlw.go.jp/kinkyu/kenkou/influenza/index.html>)
- ・国立感染症研究所感染症情報センターのHP (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)
- ・兵庫県のHP：新型インフルエンザ対策について
(<http://web.pref.hyogo.jp/ac02/influenza.html>)

定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	インフルエンザ	26.75	29.57	-2.82	6位	突発性発しん	0.33	0.40	-0.07
2位	感染性胃腸炎	4.48	3.41	+1.07	7位	流行性耳下腺炎	0.22	0.23	-0.01
3位	水痘	1.35	0.89	+0.46	8位	咽頭結膜熱	0.20	0.09	+0.11
4位	RSウイルス感染症	0.50	0.29	+0.21	9位	流行性角結膜炎	0.14	0.14	+0.00
5位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.48	0.48	+0.00	10位	マイコプラズマ肺炎	0.11	0.00	+0.11

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 23名 （神戸市 11名、尼崎市 1名、姫路市 3名、西宮市 2名、伊丹保健所管内 3名、加東保健所管内 2名、赤穂保健所管内 1名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	梅毒 1名 （神戸市；早期顕症梅毒Ⅱ期）
追加報告	結核 3名 （宝塚保健所管内 1名、丹波保健所管内 2名）

検査情報（兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センター）

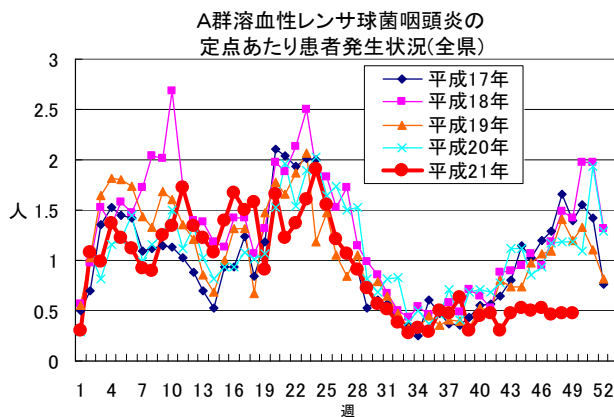
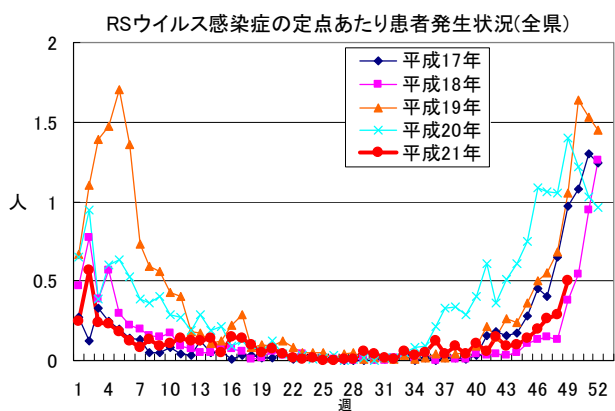
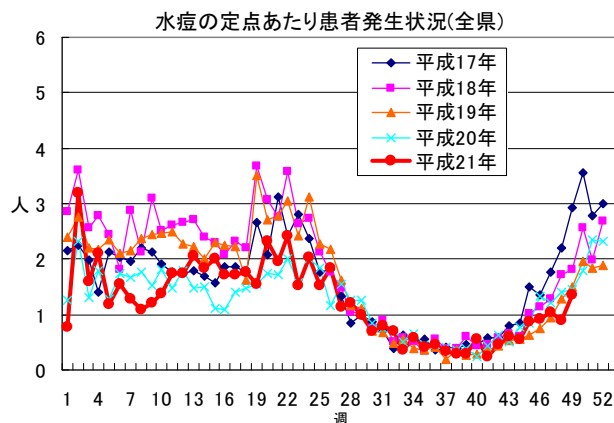
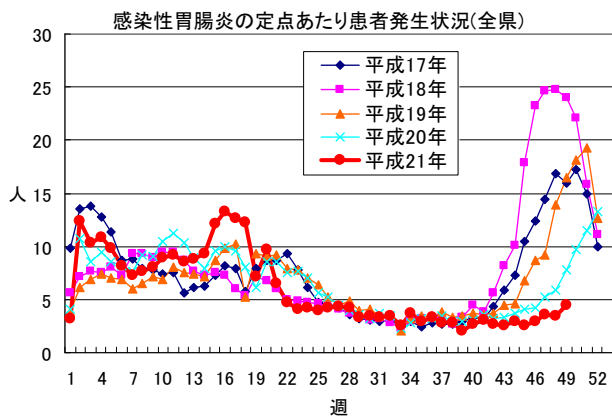
尼崎市内の医療機関を受診した**気管支喘息患者 11名**（0歳2名、1歳3名、2歳1名、3歳3名、6歳1名及び7歳1名）、**肺炎患者 3名**（0歳2名、5歳1名）、**クループ症候群患者 2名**（6歳1名、8歳1名）、**上気道炎患者 1名**（2歳）及び**発疹患者 1名**（0歳）から**ライノウイルス**が検出されました。

同じ医療機関を受診した**発疹患者 1名**（0歳）から**コクサッキーウイルスA6型**が、**熱性けいれん患者 1名**（2歳）及び**感染性胃腸炎患者 1名**（0歳）から**コクサッキーウイルスA9型**が、**ヘルパンギーナ疑い患者 1名**（1歳）及び**HUS患者 1名**（2歳）から**コクサッキーウイルスA10型**が、**気管支喘息患者 1名**（1歳）から**コクサッキーウイルスB1型**が、**上気道炎患者 1名**（3歳）及び**気管支喘息発作患者 1名**（1歳）から**エンテロウイルス68型**が、それぞれ検出されました。さらに、**発熱患者 1名**（5歳）から**パラインフルエンザウイルス1型**が、**気管支炎患者 1名**（1歳）から**パラインフルエンザウイルス4型**が、それぞれ検出されました。

姫路市内の医療機関を受診した**ヘルパンギーナ患者 4名**（1歳1名、3歳2名及び4歳1名）及び**手足口病患者 1名**（4歳）から**コクサッキーウイルスA6型**が、これとは別の**ヘルパンギーナ患者 1名**（10歳）から**コクサッキーウイルスA10型**が、それぞれ検出されました。

豊岡市内の医療機関を受診した**けいれん重積症患者 1名**（0歳）及び**肺炎患者 1名**（1歳）から**ライノウイルス**が検出されました。

目で見える動向（県内）



感染性胃腸炎と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は例年の同時期としては患者数が少なく推移しています。水痘と RS ウイルス感染症の患者数は増加し始めています。

この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報 (IDWR) がダウンロードできます。